

## みんなの公園を みんなで作っていく

インクルーシブひろば〜みんなおなじ空の下〜

代表 鈴木理恵子さん



### みんなの公園ではなかった

2020年11月に市民活動団体を立ち上げた、鈴木理恵子さんは「公園はみんなで作れる場所だと思っていたのに、マインリティになってみたら、そうではなかった」と、教えてくれました。鈴木さんには3人の子どもがいて、下の子たちは双子です。双子は成長とともに進行性難病と診断され、歩くことができなくなりました。障がいがあってもなくても、公園デビューは「あたりまえ」…そう思っ

### 市民活動団体の立ち上げへ

都内にあるインクルーシブ公園の要素を盛り込みつつ、藤沢市に新しいタイプの公園をつくるために、鈴木さんは団体を立ち上げました。障がいのある方もない方も、赤ちゃんから高齢者まで、誰もが利用できる交流できる公園をつくりたい…、その想いに団体メンバーが集まりました。インクルーシブ公園とは、障がいの有無に関わらず、みんなで遊べる、みんなで利用できるように工夫された公園のこと。市民活動団体が11月に発足し、翌月には第一回目のワークショップ「公園の新しいスタイルをみんなで考えよう！」を開催しました。

### 障がいのある方のためだけの公園ではない

インクルーシブ公園は、障がいのある子のためにつくられているわけではなく、誰にでも利用しやすいように工夫されています。みんなにとって楽しい空間をつくるためには、公園というハード面はもちろん、ソフト面も大切にしたいと話してくれました。「おなじ子ども」であり「人間であることはおなじ」…違いがあることは自然なことであり、違いがあっても、あたりまえにみんなが自然と関われる場所。

### 笑顔でつくられた「壁」がなくなるように

取材を通して、「知る」伝えていくということの大切さを実感します。笑顔があふれる公園の中にギスギスと相手を嫌い、露骨に仲間外れをつくる場面はそう多くはありません。どう声をかけていいかわからない、大変そうだから近づけない、よくわからない、怖い…。同じ空間にいるのにいないようである、遊べていない子がいるのに気がつかない…その無意識につくられた「壁」こそ、アナを開けていきたい。鈴木さんの話してくれた想いは、私たちに気づきを与えてくれるインタビューでした。

### 詳しくは、サイト内の記事へ。

「みんな、おなじ（インクルーシブ）ひろば〜みんなおなじ空の下〜」代表 鈴木理恵子さん [No. 012]



## オーダーメイド 自分の着たい服が 選べることは 生きる楽しさに



人にとって、選択するとは「生きること、そのものである」と教えてくれた、宮澤久美さん。障がいや病气、既製服が合わない方へ、オーダーメイドの服を手掛ける彼女は「自分で選択した」と思えることで、自尊心やプライドが確立できると話してくれました。車椅子だからオシャレができない、選択肢が少ない…ドレスなど日常着でなければ、なおのこと。どんな状況の誰であつても、好きなデザインの好きな服やドレスが選べる「あたりまえ」を。費用を抑え、プロフェッショナルとしてのエッセンスを加える…そこに選択する本人の想いと宮澤さんの想いが加わることで、唯一無二のオーダーメイドが完成します。

▼詳しくは、サイト内の記事へ。

『想いを叶えるオーダーメイド (Mトフル 宮澤久美さん) [No. 013]』



車椅子用のドレスを「選べる」ように



## 指先に点字？！ 点字ネイルは指先のお守り

「点字」の魅力は、言葉とアート。指先に点字ネイルを入れてみると、毎日の活動がその「言葉」に支えてもらえるようになりました。お守りのような力に背中を押してもらおう…そして、何ともいえないラインストーンとの並びは、デザインとしての美しさを私たちに与えてくれます。点字をもっと身近に、もっとみんなのものに。

▶詳しくは、サイト内の記事へ。  
『点字ネイルに吸い込まれる』



## パラ陸上 多川知希選手 選手の顔と プライベートの顔と



リオデジャネイロパラリンピックでは、4×100mリレーで銅メダルを獲得した多川知希選手にお話を伺いました。失敗を繰り返しながら長く陸上競技をしている、その「経験」こそ自分の武器だと話してくれました。パラアスリートとして活躍する中で、障がいがあることにも自信を持てるようになったと話す多川さん。記事は選手編とプライベート編の2つがあり、その両方の姿を知ること、人には何色もの色があることを気づかせてくれました。障がいがあるから何かをやらなくては…という使命感ではなく、周りの人と同じように、楽しいことや好きなことをやり続けたい…それが、多川さんの中では、障がいとともに試行錯誤するスポーツの世界にあったのだと、語ってくれています。

▼詳しくは、サイト内の記事へ。

『経験が武器、義手をつかったスタートダッシュ (パラ陸上 多川知希選手) [No. 010]』

『いつまでも少年の心のまま、好きなことを (多川知希さん) [No. 011]』



シャワー  
クライミング♪



### 取材させてください!取材先大募集!!

市内の活動、市内の福祉の活動が集約されるサイトを作成していきます。「藤沢」「障がい」「福祉」と聞いて、少しでも心が動いたあなた!ご連絡をお待ちしています。



当面の間は基本的にオンラインまたは電話での取材になります。

障がいのアナ サイト内の  
「お問い合わせ/取材依頼」より  
ご連絡ください

インタビュー内容をメールで送付します

電話や ZOOM にて詳細をお伺いします

記事を作成し完成後、ご連絡します

### 公式 LINE アカウント

最新情報をいち早くお届けします  
戸せびご登録ください♪

友だち追加は  
こちらどうぞ!



@shogai\_ana

障がいのアナニュースター Vol.4

2021年1月発行

発行：市民活動団体 障がいのアナ

mail: info@shogai-ana.com

障がいのアナ



https://shogai-ana.com

Facebook @shogai.ana

Instagram @shogai\_ana

LINE @shogai\_ana



AnaLetter